

ぼくはうみが みたくなりました

自閉症の青年と看護学生の明日美が過ごした
「いつも」とは違う2日間の物語

京都チャリティ上映会・活動報告会を実施します！

日時	2010年2月27日(土) 13時30分～16時40分 (開場は13時よりおこないます)
場所	京都教育大学 大講義室2 JR藤森駅下車 徒歩3分、京阪墨染駅下車 徒歩7分
料金	大人:1000円 学生:800円 (席が必要なお子さまは、学生料金となります。)
定員	300名(先着順)

詳細は裏面をお読みください

主催 京都YMCA 京都YMCA国際福祉専門学校
後援 京都教育大学(予定) 京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター
協力 京都ウエストワイズメンズクラブ 京都めいぶるワイズメンズクラブ

本上映会の収益は、京都YMCAが行う障がいのある子どもたちを支援する活動に使用されます。

この作品の原作者で、自閉症の男の子の父親でもあった山下久仁明氏が、3年の月日をかけて作りあげた映画「ぼくはうみがみたくなりました」。本活動報告会・上映会は、2009年4月に完成したこの映画の上映を通して、広く今の社会に生きる人々に向けて「自閉症」に対する理解を求めていくために実施します。また、障がいがある子どもたちへの支援をおこなっている2つの事例から、支援のあり方について考えを深めていきます。

活動報告会・上映会内容

- 13時30分 開会・挨拶
- 13時40分 活動報告会(京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター、京都YMCA)
- 14時40分 休けい
- 14時55分 映画「ぼくはうみがみたくなりました」上映
- 16時40分 閉会

<活動報告団体紹介>

京都教育大学附属特別支援教育
臨床実践センター



発達障害学科、附属学校等と連携し、学生と共に発達の課題のある児童、生徒への小集団活動を実施しています。

京都YMCA発達障がい児サポートプログラム



発達障がいがある小学生が野外活動や大学生リーダーとの関わりを通して、対人関係やコミュニケーションスキルを獲得していく活動をしています。

「ぼくはうみがみたくなりました」映画紹介

ストーリー

自分を見失いかけていた看護学生の明日美(大塚ちひろ)は、ある日のこと、愛車の黄色い ステップワゴンを見つめている青年・淳一(伊藤祐貴)に声をかける。高校時代に好意を寄せていた同級生に面影が似ていたからだ。明日美の誘いを断るわけでもなく、助手席に乗り込んできた淳一とともに、二人は海へと向かう。しかし、彼の言動は少し変だ。いや、少しどころじゃない。どう考えてもおかしい…。偶然からはじまったドライブは、旅先で出会う人々を巻き込みながら、たくさんの驚きとささやかな幸福を明日美にもたらすことに。

文部科学省推薦作品
映倫年少者映画審議会推薦作品
文化庁助成作品
社団法人企業メセナ協議会支援作品

製作……「ぼくはうみがみたくなりました」製作実行委員会
製作プロダクション……COCOON
協力プロダクション……アリエス/ミラクルボックス

キャスト

門倉明日美	大塚ちひろ
浅野淳一	伊藤祐貴
吉田慎之助	秋野太作
吉田ハル子	大森暁美
浅野瑞江	石井めぐみ
浅野健二	小林裕吉
ラジオDJ	津久井教生(友情出演)
若松肇	ピエール瀧(友情出演)

他

スタッフ

企画・原作・脚本	山下久仁明
プロデューサー	松本朋文
アソシエイト プロデューサー	岡田俊生
監督	福田是久
音楽	椎名邦仁
撮影	青木正
キャストイング プロデューサー	古川千恵子
ラインプロデューサー	中村英児
宣伝	ブラウニー
脚本医療監修	内山登紀夫

参加申込み方法

下記事務局にて前日までにチケットをお求めいただくか、メール・電話・FAXのいずれかで、「お名前・チケット枚数・連絡先」をお伝えください。なお、定員になり次第申込みを締め切らせていただきますので、なるべく早くお申し込みください。

京都YMCA発達障がい児サポートプログラム事務局(担当:中村彰利)

京都市中京区三条通柳馬場角 京都YMCA内

電話 075-231-4388 FAX 075-251-0970

E-mail ritcen@kyotoymca.or.jp

メールでお申し込みの場合、件名に「上映会申込み」と記入してください